



ひらいて みちゃりい



特集 子どものけんか・ことば・気持ち

p 10 子どものけんか 田丸敏高先生

マツのポイント 『「やさしいけれども怒るとこわい」など学童期の多価的パーソナリティの段階があり、けんか相手は生活や遊びでは不可欠な存在であり様々な可能性を持った友だちである』→素敵なことですね！

p 31 私が子どもの頃のけんかの思い出

マツのポイント みなさんも子どもの時（いや大人になっても）けんかの思い出があるのでは？一度話し合ってみてもよいかも！？

講座 わたしたちが暮らす社会を見つめ、これからの わたしたちを考える

p 46 日本の社会構造 末盛慶先生



マツのポイント 「わたしたちは社会構造の中で生きていて、社会構造を変えることができる。とくに現在の日本の社会構造が持つ重層的圧力をどう克服していくのか、日本の未来を考えていくうえで、絶対に回避することができない論点です」→今を生きている大人たちができることを精一杯やって、子どもたちのよい未来を築いていきたいですね！

p 65 子どもたちが教えてくれたこと

マツのポイント 子どもから気づかされることや、勉強になることや「この言い方はよくなかったな」と反省することがあると思います。まずは子ども「の」話を聞くことからやってみようと感じました。

p 72 全国学童保育研究集会 参加申し込み受付 はじまりました

マツのポイント 福岡（博多）から岡山（倉敷）まで2時間ちょっと！現地参加しよう！！



巻末見開き お弁当のつくり方・詰め方

マツのポイント まだまだ暑い日が続きそうです。子どもと一緒に弁当を作って食中毒に気を付ける機会にしてみてもいいのかもしれないね！

「日本の学童ほいく」誌は、日本の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議を もとに、学童保育に特化して構成された唯一の月刊誌です。福岡県連協は、この月刊誌を、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ「ひらいてみちゃりい」を配信しています。毎月担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介しています。是非、定期購読を！ 申し込みをお待ちしております！

申し込み先：福岡県学童保育連絡協議会

FAX (093-662-6006) TEL (093-662-6000)